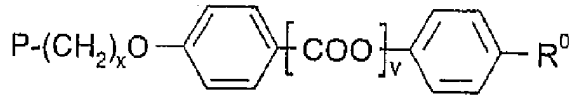
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

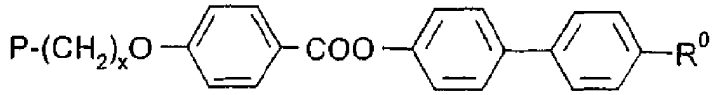
【公表番号】特表2006-523319(P2006-523319A)
【公表日】平成18年10月12日(2006.10.12)
【年通号数】公開・登録公報2006-040
【出願番号】特願2006-504578(P2006-504578)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｆ　1/13363　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1368　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1335　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｆ　1/13363
Ｇ０２Ｆ　1/1368
Ｇ０２Ｆ　1/1335　５０５
Ｇ０２Ｆ　1/1335　５１５
Ｇ０２Ｆ　1/13　５００

【誤訳訂正書】
【提出日】平成19年11月28日(2007.11.28)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】請求項１３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項１３】
ＬＣ材料が、以下の式：

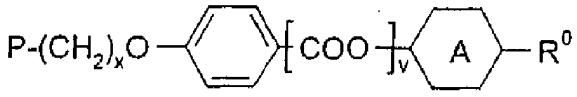
【化１】



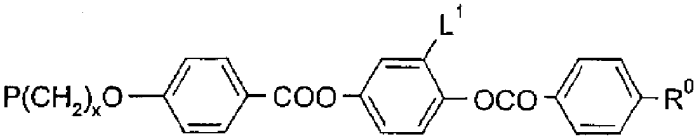
(R1)



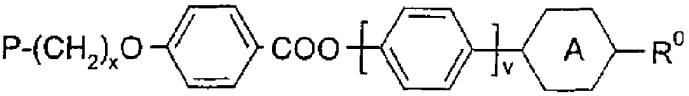
(R2)



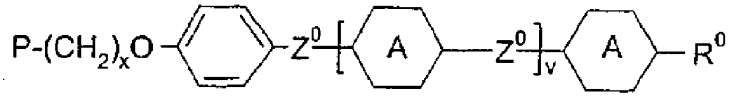
(R3)



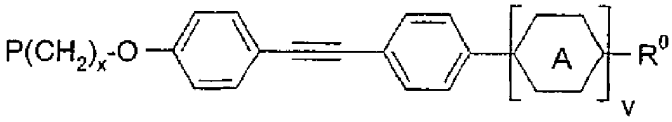
(R4)



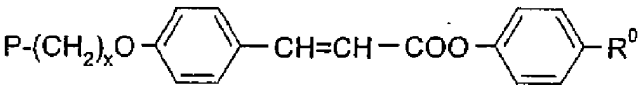
(R5)



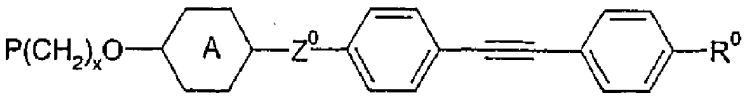
(R6)



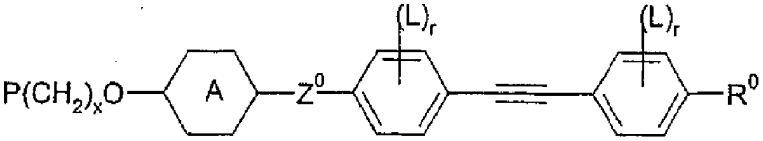
(R7)



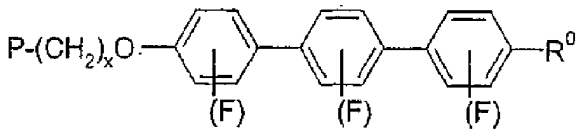
(R8)



(R9)



(R10)

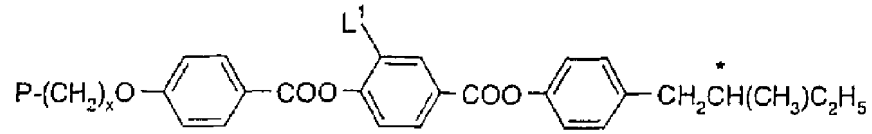


(R11)

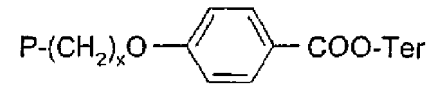
【化２】



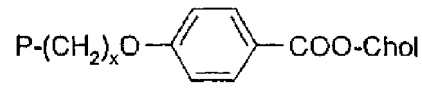
(R12)



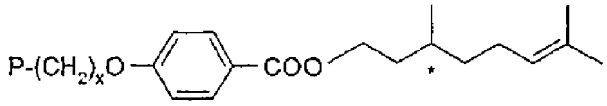
(R13)



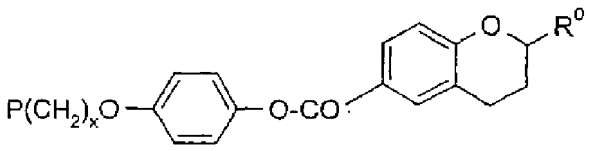
(R14)



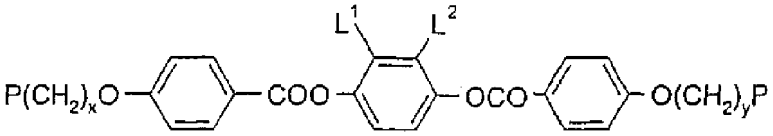
(R15)



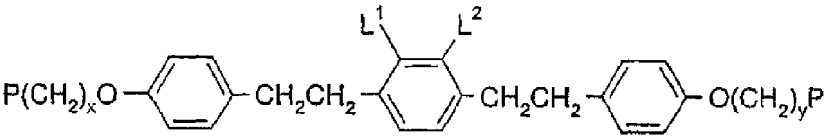
(R16)



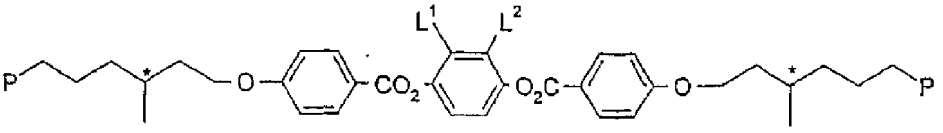
(R17)



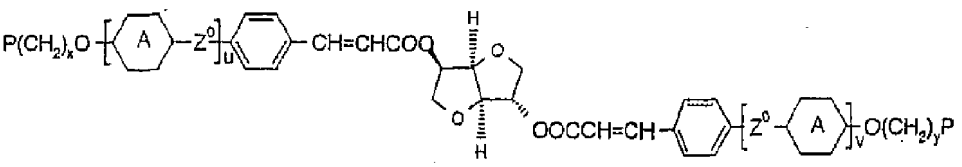
(R18)



(R19)

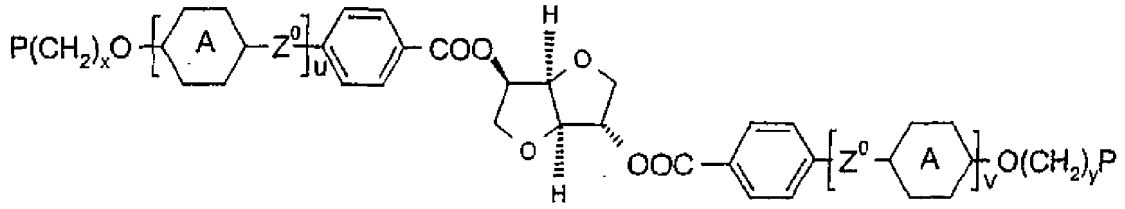


(R20)

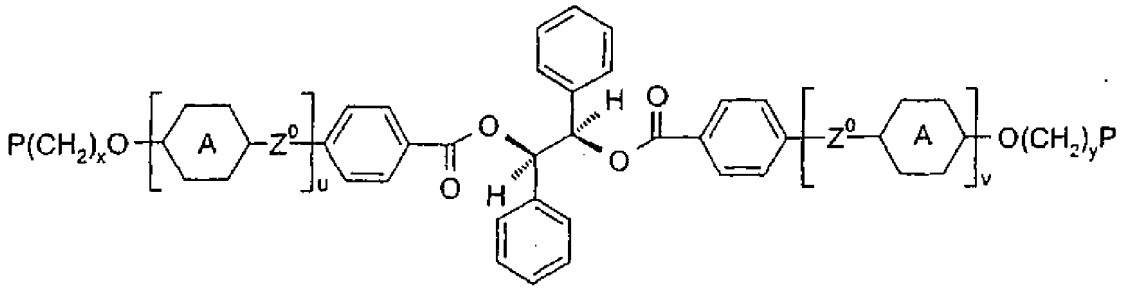


(R21)

【化３】



(R22)



(R23)

式中、
Ｐは、重合可能な基であり、
ｘおよびｙは、同一または異なる１～１２の整数であり、
Ａは、随意的に、Ｌ[1]により一置換、二置換または三置換された１，４－フェニレン、または１，４－シクロヘキシレンであり、
ｕおよびｖは、互い独立して０または１であり、
Ｚ[0]は、－ＣＯＯ－、－ＯＣＯ－、－ＣＨ$_2$ＣＨ$_2$－、－ＣＨ＝ＣＨ－、－Ｃ≡Ｃ－または単結合であり、
Ｒ[0]は、Ｆ、Ｃｌ、ＣＮ、ＮＯ$_2$、ＯＨ、ＯＣＨ$_3$、ＯＣＮ、ＳＣＮ、随意的にフッ素化された、４個までのＣ原子を有する、アルキルカルボニル、アルコキシカルボニル、アルキルカルボニルオキシもしくはアルコキシカルボニルオキシ基、または１～４個のＣ原子を有するモノ－、オリゴ－もしくはポリフッ素化アルキルもしくはアルコキシ基、から選択される極性基、あるいは、１個もしくは２個以上のＣ原子を有し随意的にハロゲン化されたアルキル、アルコキシ、アルキカルボニル、アルコキシカルボニル、アルキルカルボニルオキシまたはアルコキシカルボニルオキシであって、前記の極性基ではないものから選択される非極性基であり、
Ｔｅｒは、テルペノイドラジカルであり、
Ｃｈｏｌは、コレステリル基であり、
Ｌ、Ｌ[1]およびＬ[2]は、互いに独立して、Ｈ、Ｆ、Ｃｌ、ＣＮ、または１～７個のＣ原子を有し随意的にハロゲン化されたアルキル、アルコキシ、アルキルカルボニル、アルキルカルボニルオキシ、アルコキシカルボニルもしくはアルコキシカルボニルオキシ基であり、そしてｒは、０、１、２、３または４であり、
そして、この式中、フェニル環は、随意的に１、２、３または４個のＬ基によって置換されている、
から選択される、１種または２種以上の化合物を含むことを特徴とする、請求項９～１２のいずれかに記載の光学遅延フィルムまたはＬＣＤ。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４５】

上の式において、Ｐは重合可能な基であり、好ましくは、アクリル、メタクリル、ビニル、ビニロキシ、プロペニルエーテル、エポキシ、オキセタンまたはスチリル基であり、ｘおよびｙは同一または異なる１～１２の整数であり、Ａは、随意的に、$Ｌ^{1}$により一置換、二置換または三置換された１，４－フェニレン、または１，４－シクロヘキシレンであり、ｕおよびｖは、互い独立して０または１であり、$Ｚ^{0}$は、－ＣＯＯ－、－ＯＣＯ－、－$ＣＨ_{2}$ $ＣＨ_{2}$－、－ＣＨ＝ＣＨ－、－Ｃ≡Ｃ－または単結合であり、$Ｒ^{0}$は、極性基または非極性基であり、Ｔｅｒは、テルペノイドラジカル例えばメンチルであり、Ｃｈｏｌは、コレステリル基であり、Ｌ、$Ｌ^{1}$および$Ｌ^{2}$は、互いに独立して、Ｈ、Ｆ、Ｃｌ、ＣＮまたは、随意的にハロゲン化された、１～７個のＣ原子を有するアルキル、アルコキシ、アルキルカルボニル、アルキルカルボニルオキシ、アルコキシカルボニルもしくはアルコキシカルボニルオキシ基であり、そしてｒは、０、１、２、３または４である。上の式のフェニル環は、随意的に１、２、３または４個のＬ基によって置換される。